

# 広野町地域公共交通活性化事業 今後の公共交通事業に期待することは？



渡邊 栄一 さん  
(折木)

町では、平成10年4月から運行を開始した町民バスについて、人口減少や高齢化の進行による交通弱者等の増加に対応するため、令和5年7月から町民バスとデマンド交通を組み合わせたハイブリット方式を導入する事業案が示されました。デマンド交通はドアtoドアの運用であることから利用者の利便性が向上するとともに、従来のタクシー利用に比べ利用者負担の軽減が期待されます。

町民の方から、当事業に対して期待していることなど、ご意見・ご感想をお伺いしました。

これからますます高齢化が進むのに、町民バスは高齢者にはなくてはならないものだと思います。

私は、元大和田町長が走らせてくれた町民バスを大変ありがたい乗り物だと思っています。

そして若い人達にも常日頃から、この大切な交通をなくさないでほしいと言いつづけてきました。

これからも病院や買い物に行くために必要です。よろしくお願ひします。



長久保 敏江 さん  
(折木)

いつも町民バスで、町内の病院に行きます。

町営住宅から乗れない時もあるので、今度始まるデマンド交通は、予約ができてとても助かります。

料金も手頃なので、高齢者だけでなく、皆さんが利用しやすいと思います。

広野町に住んでよかったと思うのは、町民にやさしいこつこつサービスを町が進めてくれるからです。

## 編集後記

日本の3月の気温は年々上昇しています。過去30年の平均値を基準とすると、令和5年は2・75度上回り、統計開始以来、最も高い値となりました。

田植えの時期を間近に控え、水利組合各農家で掘り払い共同作業と併せて育苗が始まりました。

ロシアのウクライナ侵攻の影響で、世界の穀物やエネルギーの価格が高騰し、さらに円安が進み、輸入食料品の値上がりが続いています。

また、食料生産の基盤となる農地の減少も深刻で、食料危機に備えて耕地利用率の向上が求められます。

移住定住推進でも若い人材が集まる地域農園を切り離して

は考えられないので、通年した仕事が必要です。複数の仕事を掛け合わせた通年雇用の仕組みを作って好循環しなくてはなりません。「生産・研究・学」は欠かせません。

(北郷 伯弘)



春を感じるタンポポ

- 発行・編集責任者  
議長 長 北郷幹夫
- 広報委員会  
委員長 阿部憲一  
副委員長 渡邊正俊  
委員 小磯利雄  
委員 畑中大子  
委員 北郷伯弘

次の定例会は6月です